

## 「宮城県立高校共学化」に関するアンケート結果

河北新報は2020年12月28日～21年1月12日、宮城県立高校の共学化に関するアンケートを実施しました。いただいたメッセージの一部をご紹介します。

共学化した学校ならではの思い出、エピソードを教えてください

### 仙台一

#### ■女性

- ・ 部活で男女一緒に練習するため、女子の技術が向上する(1年、16歳)
- ・ 今年から、應援団幹部(應援団団長)が女子となり、そのことで、色々ともめた(2年、17歳)
- ・ 卒業アルバム撮影の際に、全裸がNGになった(先輩達の代はモザイク加工でOKだった)(2013年卒、26歳)
- ・ 一期生の女子が入学した当初、女子の物珍しさからか先輩方の熱量がすごくて、道を歩くだけで歓声があがった(2013年卒、26歳)
- ・ 強歩大会で女子が入学したからリタイア増えたって言われたくなくて、女子で気持ちを一つに頑張った(2013年卒、25歳)
- ・ 共学化に合わせて変わっていくべきか否かというような議論がよくなされていた。共学化に反対のOBに反対運動を記録した資料を渡されて、読むように言われたこともあった。その歴史を踏まえることが大事だと了解していたが、自分が望まれていないことをひしひしと感じることにもなった(2016年卒、23歳)
- ・ 特に運動祭では男子中心の競技が多かった。女子が参加出来ないわけではないのだが、多くの競技は白熱し激しくなるため、女子も遠慮していたように思う。一方年々増えた女子のために女子のみの競技(女子騎馬)ができ、そこでは女子も男子に劣らず激しい戦いをしていた。(2016年卒、23歳)

#### ■男性

- ・ 女子生徒への配慮の名の下に、良くも悪くも行事や校風が丸くなってしまった(2012年卒、27歳)
- ・ 男の先輩からうらやましがられる(2013年卒、26歳)
- ・ 変化することと、伝統を守ることを強く意識した3年だった。男子校時代のやり方や、女性がいるとはばかられるような格好について、女子生徒が「高校見学等で校風やどんな生徒が多いかもわかった上で入

学している。単に偏差値や進路先大学なんかで選ぶのなら、別の高校に入ってる」と有志演説で述べていたのが印象的だった(2013年卒、26歳)

- ・ 盃高祭(文化祭)で水泳部の出し物であるウォーターボーイズに、初めて女子が参加した(2016年卒、23歳)
- ・ 生徒総会で女性の立場ならではの意見が出るようになって、学校運営の面でプラスになった(2020年卒、18歳)

## 仙台二

### ■女性

- ・ 入学時は3年生が男子のみで、共学化反対の人もいたため、女子が中庭で遊んでいると、3階(3年生のフロア)からバケツで水をかけられた(2011年卒、28歳)
- ・ 「女子の入学で伝統を壊させない」と教員(主に同校出身者)から指導され、先輩からもその雰囲気の色濃く感じた。応援練習や定期戦をはじめ、すべての行事で妥協を許さず「男子校」としての雰囲気を共学化後も維持しようとする先輩や先生方の気概を感じた。(2011年卒、28歳)
- ・ 大学生になって男子校時代のOBの方にお会いした時に、女子の卒業生だということで驚かれる。また、その話題で初対面でも会話が盛り上がることもある(2015年卒、24歳)

### ■男性

- ・ 文化祭に女子生徒のアイデアやセンスが取り入れられ、より磨きがかかった。同じ学校内で何組ものカップルが誕生していた。(2011年卒、28歳)
- ・ 女子トイレが別棟で遠いのが、可愛そうだと思った(2020年卒、19歳)
- ・ 女性の応援団長がいた。男子校時代のOBが権力を持つ中、定期戦等で彼女が応援の指揮をとることは、在校生のみにとどまらず、ジェンダーレスの時代の空気の伝播に役立った(2020年卒、19歳)

## 仙台三

### ■女性

- ・ 男女の比率の差がすごかった。出席番号が前に男子、後ろに女子で固められて、男尊女卑だなと思った(2013年卒、26歳)
- ・ 男子校に突入する女子はわりと性格が似ており、さっぱりしていて楽しかった。新入生のときには3年生がまだ男子学年だったが、わざわざ新入生の教室まで可愛い子を探しにきており、思春期という感じで面白く楽しかった記憶がある(2013年卒、26歳)

- ・ 文化祭に来た男子校時代の OB が「もはや違う学校」「俺らの時はこんなにキラキラしていなかった」と言っていた(2014 年卒、24 歳)
- ・ 文化祭、体育祭等のイベントごとで、男子がすぐクラス T シャツを脱ぐこと。(2016 年卒、23 歳)
- ・ 男子校時代からいる先生は、女子に少しだけ優しい気がした。(2017 年卒、22 歳)

#### ■男性

- ・ 男女比が異なるので、体育が難しい(2012 年卒、26 歳)
- ・ 女子の割合が増えたことで吹奏楽部の人数も増え、数年で県内で強豪と呼ばれる程に成長した(2015 年卒、23 歳)
- ・ 体育祭で異性から応援してもらえた。バレンタインデー、ホワイトデーが少し楽しみなイベントになる(2016 年卒、23 歳)
- ・ 共学化と共に校舎も建て替えたので、正直言って応援団以外には男子校時代の名残はほとんど残っていない(3 年、18 歳)

## 宮城第一

#### ■男性

- ・ 入学当初は共学反対派だった他の生徒にすれ違い様に睨まれたりなどしたが、そういった差別は周囲が慣れていくにつれ徐々に減っていったかと思う。学校行事における男女間の温度差はかなり感じた。(2011 年卒、27 歳)
- ・ 教室では女子が着替えるため、体育の後男子は教室に入れない。お昼前の体育の後はお腹が空くので、廊下のロッカーの上に弁当をセットすることがよくあった(2012 年卒、27 歳)
- ・ 男子が極端に少ないため、あらゆる場面で居づらさを感じることもある(3 年、18 歳)

#### ■女性

- ・ 共学一期生だったため、運動会の学年リレーで共学チームが上位になり、上の学年から批判を買ってしまった。新設された男子トイレだけ綺麗だった(2011 年卒、28 歳)
- ・ 共学化 2 年目で、所属していた陸上部に、初めて男子部員が入った。これまで出られなかった男子リレーに出られた時などにテンションが上がった(2012 年卒、27 歳)
- ・ 男女混ぜこぜでの行事は楽しかった。男子のいるクラスは仲良いイメージだった(2014 年卒、25 歳)

- ・ 男子トイレが圧倒的に少なかった。体育祭で男子競技はあるものの、女子クラスとの差が出来てしまうため、クラス点数には換算されなかった。地域の人に高校名を聞かれたとき、「昔の一女」と説明した方が理解してもらえる(2018年卒、21歳)

## 仙台二華

### ■女性

- ・ 男子が学年に十数名と本当に少なく、私は女子クラスでした。共学一期生ということもあり、体育祭や部活、水泳の授業など、どのように運営していくか、とても難航していたように思う。そして、男子が本当に肩身が狭そうでした。女子は教室で着替え、男子は廊下で着替える、ごめん男子!! (笑)(2013年卒、26歳)
- ・ 男子が圧倒的に少なかったため、普段は男子トイレも女子トイレとして使用していた。ただし文化祭のときは、男性のお客さまも多数いらっしゃるため、男子トイレも本物の男子用のトイレとして開放していた。にもかかわらず、ついいつものくせで男子トイレに入りかけてしまった。あのときは焦った(2013年卒、25歳)
- ・ ミスターコンテスト(女子が男装する)が伝統だった。負けじと男子はミスコンをやっていた。(2014年卒、25歳)
- ・ 「二華男」文化。やまとおみなを輩出する校風らしく、他高の男子より優しい人が多かった(2017年卒、22歳)

## 仙台三桜

### ■男性

- ・ 女子校だった名残が強く残っており、女子の意見が優遇されやすい。男子の立場が弱い(1年、15歳)

### ■女性

- ・ 共学の学年が自分達だけだったので、体育祭などのクラス分けが複雑だった。男子がいるクラスに対する先輩方からの批判があり大変だった(2013年卒、26歳)
- ・ 女子のみで構成されている女子クラスと男女混合の共学クラスがあり、新クラス発表時にはほぼ全員の女子が女子クラスになれるよう祈っていた。そして共学クラスになったショックで泣いてる子もいた。(2017年卒、22歳)
- ・ 女子クラスの団結力が強い。他校に説明するときは「ほぼ女子校」という。卒業後も説明が面倒なので「女子校出身」と紹介する。別学時代から女子の運動部が校庭を使用してきたため、男子の部活が発足しにくい(2017年卒、22歳)

- ・ 1年生の時だけ共学クラスでしたが、仲の良さが半端じゃなかった。男子は人数が少ないので、もちろん男子同士も仲が良く、女子とも仲良くなろうとしてくれて、結果クラスの仲はとても良かった(2017 年卒、22 歳)

## 石巻

### ■女性

- ・ 部活の OB 会に女子が少なく、先輩から珍しがられた(2012 年卒、27 歳)

### ■男性

- ・ 文化祭での男女入れ替えたミスミスターコンテストなどは共学でしかないイベントだった(2014 年卒、25 歳)

## 石巻好文館

### ■女性

- ・ 共学化した一期生だったので、新しいルールを作るのが楽しかった(2009 年卒、30 歳)
- ・ 球技大会の男子種目が少なかった。女子はソフトボール、卓球、バスケ、バレーで男子はバスケかバレーのみだった(2012 年卒、27 歳)
- ・ 共学化によって学校名が変わったので、年配の方に未だに学校名が伝わらないときがある。男子でも校歌を歌えるようにキー(調)を 1 つ下げたという話を聞いた(2018 年卒、21 歳)

## 古川

### ■女性

- ・ 男子が多く、物理の授業は教室に女子が 5 人しかいなかった。増設された女子トイレはとてもきれいだった(2012 年卒、26 歳)
- ・ 担任の先生が「男子校の時は半裸で授業を受けている生徒もいたけど、今はそれをするわけにはいかないもんなあ」と懐かしそうに語っていた(2014 年卒、29 歳)

## 古川黎明

### ■女性

- ・ 吹奏楽部だったが、男子がいたので肺活量があり音域が広がった(2009 年卒、30 歳)

## 別学だった頃の伝統や校風を感じたときのエピソードを教えてください

### 仙台一

#### ■女性

- ・ 運動祭などは完全に男子メイン。棒倒しや茶畑歌留多は元男子校ならではの種目(2年、17歳)
- ・ 救急車が来る体育祭(2016年卒、22歳)
- ・ 入学式で「男子校でなくなるのには反対だった」とOBがスピーチした。脱げば脱ぐほど良いと思っていたり、女装は無条件に面白いと思っていたりする男子がいる。応援団に女子が入ろうとして止められた(2014年卒、25歳)
- ・ バンカラの伝統や校風、ノリが残っていた。別学の頃のOBが以前よりも過激になっていると話していたので、必ずしも別学の風潮がそのまま残っていたわけではなく、共学化で道を模索する過程でそういうノリが別学の頃よりかえって強くなっていたのではないかと考えられる(2016年卒、23歳)
- ・ 文化祭の一部である2日目の夜祭が、下ネタに振り切ったネタで構成されていて、途中で抜けていく女子高生もいた(2016年卒、23歳)
- ・ 応援歌に、みよ男性の意気高くと言う歌詞がある(2020年卒、19歳)

#### ■男性

- ・ 新入生歓迎会の新入生代表挨拶の際の先輩からの熱烈歓迎の叫び。あまりのボリュームで、地球が揺れているようだった。(2013年卒、26歳)
- ・ 応援団幹部には男子学生しか入団できなかった。入学直後に応援団幹部と調停委員による厳しい応援歌指導があった。水泳の授業は男子のみで、全員が学校指定の「赤パン」(赤いブーメランパンツ)という水着を着用した。授業で機転を利かせた発言や行動をとったり、授業を盛り上げるようなふざけをしたりする風潮が残っていた(例、教員に冬休みの思い出を話させ、1時間質問攻めにし、授業を終わらせるなど)(2017年卒、22歳)

### 仙台二

#### ■女性

- ・ 定期戦にむけたスパルタ応援練習。男子校時代の名残か、早弁は女子でも当たり前だった(2011年卒、28歳)
- ・ 一高二高定期戦とPR行進。先輩や対戦校(一高)に男子校世代が残っていたこともあり、野次の飛ばし合いが激しく、男子校らしい力強さを感じた。(2011年卒、28歳)

- ・ 運動会、体育の授業、文化祭、部活動等に男子校の伝統が残っていた。それはそれで良いし、男子校文化を味わえたのは貴重な機会であった一方、学校行事で女子生徒が活躍する機会は少なく、(誰もそんなこと言わないが)女子が中心となったり目立ったり、リーダーとなることは良しとされない雰囲気があった。女子生徒である自分はやや疎外感を感じた。(2012年卒、27歳)
- ・ マスゲーム(組体操)や応援練習はかなり衝撃的だったが、挑戦的で楽しかった。(2015年卒、24歳)

## 仙台三

### ■女性

- ・ 応援練習(歌唱指導)。練習期間中に応援団の人とすれ違ったら、鞆を投げ捨てて後ろで手を組み、大声で「おはようございます」と叫ばなければならなかった(2014年卒、24歳)
- ・ 応援団幹部に女子入団禁止だった(2016年卒、23歳)
- ・ 部活の正式な挨拶が「ちわっす!」「ちーっす!」などだった。ボロボロの学ラン姿の応援団がいて格好良かった(2017年卒、22歳)

### ■男性

- ・ 応援団による歌唱指導。上級生の団員に胸ぐらを掴まれた時は、「入る高校を間違えた」とも思ったが、終わってみれば良い思い出になった(2015年卒、23歳)

## 宮城第一

### ■男性

- ・ 体育祭で女子の種目が多く、男子はサッカーのみ(2年、17歳)
- ・ 自由な校風。高校というより大学の予行演習のような場所。(2011年卒、27歳)

### ■女性

- ・ 女子しか入部できない部活が多かった(2011年卒、27歳)
- ・ 歌合戦等の行事には、どの学年もかなり力を入れていた。卒業式はみんなでドレスパーティー(2011年卒、28歳)
- ・ 女子だけのクラスがあり、別学でしか経験できないことが共学でも味わえた。女子優勢、男子劣勢の環境だったので、もう少し同じくらいの人数だったらなあと思うこともあった。(2014年卒、25歳)
- ・ OGは、女性としての誇りを持っている方が多い(2018年卒、21歳)

- ・ 女だけの環境に固執する風潮は否めなかった。クラス替えの時にみんな「女クラ(女子クラス)がいい〜！」と口々に言っていたし、共学化して時間はかなり経っているが「女の世界を楽しみたい！」という気持ちがみんな強かった(2018年卒、21歳)

## 仙台二華

### ■女性

- ・ 先輩との上下関係など女子校時代から続く部活の伝統はそのままだった(2013年卒、26歳)
- ・ 1年生の頃、上級生のお姉さまがたが「二華」と言わず頑なに「二女」と呼び続けているのを聞いて、愛校心を感じた。(2013年卒、25歳)
- ・ 初めての男子生徒会長が誕生すると聞いて、共学反対派だったOGが選挙の前の演説に乗り込んできた。定演の衣装が全て手作りだった(2014年卒、25歳)
- ・ 応援団が女子生徒がメインで構成され、衣装が袴だった(2015年卒、24歳)
- ・ ひな祭りの時期に雛人形の展示がある。校歌に「やまとおみな」の語が入っている(2019年卒、20歳)

## 仙台三桜

### ■女性

- ・ 音楽部の女声だけの合唱や女を捨てる体育祭(2013年卒、26歳)
- ・ 体育祭の綱引きの為に体重を増やしてくる子がいるくらい本気。いつまでも体の三女だなと思う。(2015年卒、23歳)
- ・ 合唱コンクールに力を入れている。(2017年卒、22歳)
- ・ 女子校時代の名残で上下関係が厳しかった。朝昼夕、いつあってもその日初めの挨拶は「おはようございます」、2回目以降は「おつかれさまです」。校歌は三部合唱で本気で歌う(2017年卒、22歳)
- ・ 制服の校則が厳しかった。今までの伝統、文化があるから今がある、みたいな雰囲気があった。(2017年卒、22歳)
- ・ 体育祭や合唱コンクールの景品が大福やお菓子、チョコレートだった(2017年卒、22歳)

## 石巻

### ■女性



- ・ 新歓の過激な歓迎や文化祭の相撲に、いい意味で(?)男臭さを感じた(2012 年卒、27 歳)

#### ■男性

- ・ 応援練習がハードで、女子生徒は大変だったのでは(2014 年卒、25 歳)

### 石巻好文館

#### ■女性

- ・ 応援同好会のメンバーは全て女子で、実際に応援する際には袴と下駄を履いていた。応援歌に音程があり、大声で歌ったり怒鳴ったりするような応援歌ではなかった。高総体の際、文化部の学生総出で応援に行くのは、創部間もない野球部(男子)ではなくソフトボール部(女子)だった(2018 年卒、21 歳)

### 古川

#### ■女性

- ・ 早朝からの応援練習(2012 年卒、26 歳)

### 古川黎明

#### ■女性

- ・ 8 割女子だったので、ほぼ女子校の気風があった(2009 年卒、30 歳)

22 年度、宮城県の男子校が姿を消します。共学化についてどう思いますか

### 仙台一

#### ■女性

- ・ 首都圏では依然と男子校・女子校がある訳で、男子校・女子校 それぞれの学校生活の愉しさ 面白さがあると知っている。「男女平等！共学しろ！！」という意見もあるのは承知だが、男子校・女子校も必要なのではないか(2 年、17 歳)
- ・ 共学になることで、自分とは異なる性を持つ人の考え方に触れることは、自分の人生の各フェーズで生きてくる。特にダイバーシティが浸透していく中で、これまで以上に性や自分とは異なる人を受容していくことが当たり前になると思うので、そういった社会で生きる上でも共学を通じて様々な人と交流できるのはいいことだと思う(2013 年卒、26 歳)
- ・ 一高に入れて楽しく過ごせたから共学になってくれてありがとうと思ってる。別学の時代を過ごした人はそれに愛着があるし共学の時代の人、また然りだと思う(2013 年卒、25 歳)

- ・ 自分の尺度で行きたいと思える高校に行けることが一番なので、「立地が最高なのに」「校風が最高なのに」などの悔しい思いがなくなるのは良いことである。(2014 年卒、25 歳)
- ・ 男女が分け隔てなく活躍する社会を目指す現代においては、別学である必要はほとんどなく、共学化が生徒の選択肢を拡張することにもつながる点を考慮すると、「伝統」などの精神的な理由のみで別学校を残すくらいなら共学化を進めるべきだと思われる。共学化により部活動の成績が上がることもあれば、全体の学力が低下することもある。共学化が、その学校を選ぶ生徒だけでなく、学校にとっても良い影響を与えるものとなるような工夫が必要だ(2015 年卒、24 歳)
- ・ 共学化すると決めたからには、無理に別学らしさを残そうとする必要はないと思う。学校の伝統や校風などよりも生徒個人の人生の方が重要。学校の伝統や校風というものはその時に通っている生徒が生活した結果に生まれるものでもあると思うので、周囲の大人が生徒一人ひとりの気持ちを考えてフォローをすることが重要だと考える(2016 年卒、23 歳)

#### ■男性

- ・ 時代の流れなので仕方ないと思うが、教育委員会にはもう少し別学を選ぶ自由についても議論してほしい(2012 年卒、27 歳)
- ・ 真の多様化を目指すなら、男子校、女子高を選ぶ余地を残す選択はあっても良いのではと考える。男子だけ、女子だけによって形成される校風や教育方針などがあり、それが良いという生徒も一定数いる(2013 年卒、26 歳)
- ・ 男女共学になり、校内の男女比が変わったというだけで伝統が廃れ、元気がなくなっているのならば、あまりに残念だ。少なくとも一高の男女共学にはあまり良い展望を見いだせない。(2017 年卒、22 歳)

## 仙台二

#### ■女性

- ・ 人生のうちで最も多感な時期を共学校で過ごすことは、その人の人生にとってよい影響を与えるものだと思う。性別に囚われず、多様な考え方・個性を持つ学友と出会って切磋琢磨する経験は、そうそうできるものではない。別学のよさもあるものと想像するが、たまたま生まれ持った性別で学校の選択肢が減らされてしまうよりも、自分の学力に見合った高校を性別に関係なく選択できる共学校の方が理に叶っている(2011 年卒、28 歳)
- ・ 共学化は入学する人の窓口を広げるため、人材の多様性を高める変化だと思う。一方、異性に対する配慮というものが必要になり、これにより服装や制度に考慮すべき事項が増え、そこに割かれる労力が生じる点は学び舎としては邪魔だともとらえることができるかもしれない。(2015 年卒、24 歳)

#### ■男性

- ・ 共学と別学、それぞれ存在していれば、選択肢が広がって良いのではないか。人口減少等の地域的な個

別事情で共学化せざるを得ない場合は仕方がないが、一律に共学化したことには反対である。(2011年卒、28歳)

- ・ 大学に入って周りの男子校出身者の多さに驚いた。関東圏の有名な私立高校に男女別学が多いことを考えると、別学には別学のメリットが存在するだろうから、なんでもかんでも平等と言って共学化するのは考えもの(2020年卒、19歳)

## 仙台三

### ■女性

- ・ 男女いたほうが恋愛面において青春って感じがするけれど、男子校や女子高だからこそ体験できるものもあると思う。しかし、最近は男子女子の2つの区分だけではなく、さまざまな性の形が生まれてきているので、共学化はその点において良いことだ(2020年卒、19歳)

### ■男性

- ・ 三高は共学化で学校の雰囲気はガラッと変わってより活発になり、中学生からの人気も急上昇している。ジェンダーの平等が叫ばれている現代、共学化は時代の流れに合った改革だと思う(3年、18歳)

## 宮城第一

### ■男性

- ・ かつてあった文化の衰退という意味ではさみしいことではあるが、機会の平等という理由で世界的に進んでいることなので起きて然るべきことではあると思う。(2011年卒、27歳)
- ・ 社会には、結局のところ、男子と女子が存在するため、未成年のうちから関係の構築の練習ができる共学は良いのではと思う。多様性の話をすると、男子校、女子校を望む学生が学校経営が可能な割合であるのであれば、すべてを共学化する必要はないかもしれない(2012年卒、27歳)
- ・ 男女に分ける必要はない。しかし校風、伝統があつてこそ、人それぞれの性格にあつた高校が選べると思うので、各校が共学化と伝統をうまく融合できるように考える必要がある(2012年卒、27歳)
- ・ 男子校あるいは女子校に入学したいと考えている中学生も一定数いると思うので、県内に共学校しかなくなるのは良い印象は受けない(3年、18歳)

### ■女性

- ・ 自分の入学の時から、なぜ無理矢理共学にしたいのだろうと疑問に思ってた。もちろん共学となった高校生活は良き思い出ですが、無理に全て共学にしなくても良かったと思う。共学化の利点がイマイチよくわからない。昔の伝統が変わってしまうのは、少し寂しい気がする(2011年卒、28歳)
- ・ 別学ならではの校風や雰囲気はあつた方が良いと思うし、その方が自分らしさを発揮できる人もいると

思う。選択肢として別学の高校があってもよい。ただ世間がダイバーシティ、ジェンダーレスを目指していく中では、別学の高校の在り方に難しい部分があると感じる(2011年卒、28歳)

- ・ 偏った男らしさみたいな考えの人が減るのはいい。どんな性別の子も伸び伸びと学生生活を送れるような学校をつくってほしい(2014年卒、25歳)
- ・ 私たちがそうだったように、ただ共学化するのでは高校生はその意義や背景を考えて受け入れることは難しいと思う。共学化をする意義や今後目指す姿を高校生やこれから入学するであろう中学生に指し示した上で、男女に囚われない学校教育を目指してほしい(2018年卒、21歳)

## 仙台二華

### ■女性

- ・ 共学化にすることによって、異性に対する耐性がつくと思うのでいいと思う。一方で同性しかいない環境で育つのもライバル意識が高まっていいと思う(2013年卒、26歳)
- ・ 共学で校風は確実に変わる。私は男女別学に賛成です。二華に入って三年間女子クラスで過ごして、自立心や部活も勉強も頑張る周囲への尊敬を覚えました。男性に頼らない自立した生き方について考える良い機会だった。皆それぞれ好きなことをやって過ごして、それが当たり前で、一番自分らしく生きられた時間だった(2015年卒、24歳)
- ・ 大学で男子校出身という人をたまに見かける。その人たちを見ていると、男子校独特の雰囲気や文化はとても楽しそうだが、異性との会話にとっても困っている様子。一概にどちらがいいとは言えない(2019年卒、20歳)
- ・ 性別によって学校を選ぶ必要がなくなることは、昨今のジェンダーフリーの視点からも歓迎できる。しかし、全ての別学校を共学化することが有意義だったとは思わない。別学はその学校の魅力にもなる。画一的に共学化するのは愚策ではないか。特に一高や学院などは男子校であることに意味があったのでは(2019年卒、20歳)
- ・ 共学化をやめてほしい。共学化により校風も伝統も個性も失われていっている。私を知る限りでは、同性のみのクラスの方が団結していたし、共クラでは異性に興味を持って勉学に身が入っていない人たちを多数見かけた(2020年卒、19歳)

## 仙台三桜

### ■女性

- ・ 男女関係なく選択の幅が広がるのはいいこと。でも、各校の特色が失われないように、教職員も生徒も伝統と歴史をちゃんと知って大切にしてほしい(2013年卒、26歳)

- ・ 伝統的な男子校の共学化は少し寂しい。男子校ブランド的なものがなくなってしまうから(2015 年卒、24 歳)
- ・ 私の高校には小中学生の時に男子からのいじめを受け、男子が苦手になったという子もいた。そのような子たちの居場所として、女子校男子校は残した方がいいのではないかと思う。適切な男女感の関わりを学んでほしいと言うならば、他のコミュニティでも学ぶことはできる(2017 年卒、22 歳)
- ・ 性別が理由で行きたい学校にいけないことが無いように共学化するのは良いことだ。一方で、別学で過ごすこともまた有意義である。共学化をすることで逆に性差が生じることもあると思うので、共学化すれば良い、ということでもない考える。(2017 年卒、22 歳)

## 石巻

### ■男性

- ・ 女子の勤勉さは男子として学ぶところがあった。進学校は互いに感化し合いながら高め合える(2014 年卒、25 歳)

## 石巻好文館

### ■女性

- ・ 男子校、女子校ならではの楽しみは沢山あったし、異性が苦手な子もいると思うので、全てを共学にするのではなく、選択肢があったらいいなあと思う(2009 年卒、30 歳)
- ・ 今は、男女という二択では分けられない時代になっている。どんな人でも受け入れられるようになり、みんなが通いやすくなるといい(2009 年卒、30 歳)
- ・ 共学の方が男女の不平等感が少ないのではないかと思う。(2018 年卒、21 歳)

## 古川

### ■女性

- ・ 進学先を検討するうえで、男子校ゆえに校風などを魅力的に感じて諦めざるをえなかった女子はいると思うので共学化はいいことだと思う。ただし、男子校だったという歴史を忘れてはいけないと思う(2014 年卒、29 歳)

## 古川黎明

### ■女性

- ・ 高校生のときに共学を経験して男性女性の意見や違いを感じることは、その後の人生で大切なことだと思う(2009 年卒、30 歳)